

# 第 1 回 愛南町御荘地区沿岸津波対策検討委員会

## 住民の合意形成等に関する事項

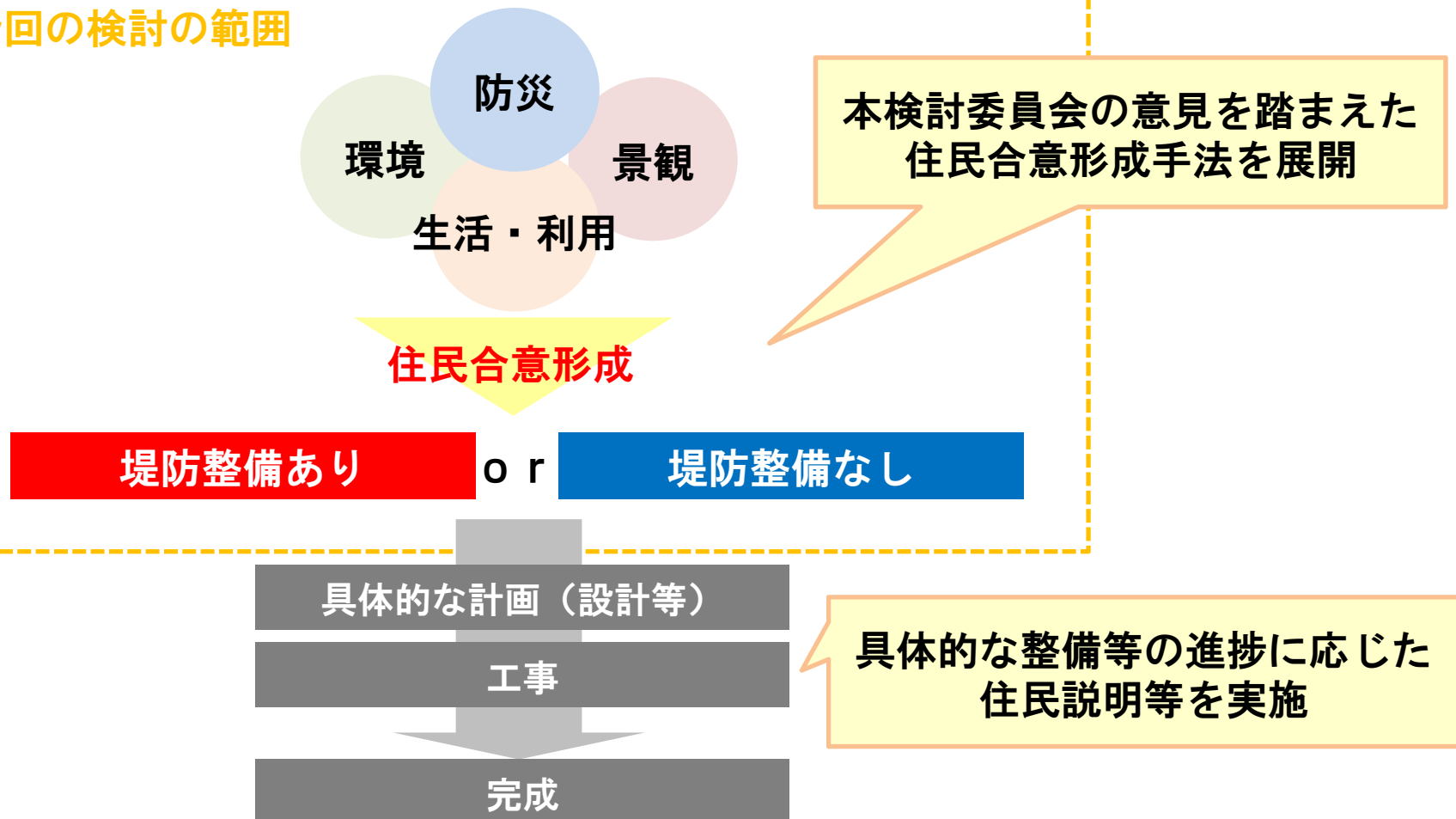
### 構 成

1. 住民合意の必要性	.....	1
2. 住民合意形成の手法	.....	2

# 1 住民合意の必要性




- ・ L1津波に対応する堤防整備の検討を進めるに当たっては、堤防高さが著しく高くなることによって、住民の生活や海岸の利用、景観、環境等に大きな影響を及ぼすことから、『堤防整備の是非に対する住民合意』を図ることが重要です。
- ・ そのため、本検討委員会において、住民の合意形成に向けて、どのような手法を、どの段階で行うべきかを明確にしていきたいと考えています。

## 今回の検討の範囲



## 2 住民合意形成の手法

本検討における住民合意形成の手法として、以下のような手法が想定されます。

手法	①アンケート	②代表者会	③住民意見交換会
イメージ			
概要	調査票を配布・回収し、対象者の意向を把握する調査	地区の代表者や関係者の参加を募り、意見交換を行う手法	多くの住民に対して参加を呼びかけ、意見交換を行う手法
対象者の規模	数百人～数千人	数名～十数人	数十人
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い意向把握が可能</li> <li>取組みの周知といった広報機能も期待される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換を通じて地区の代表者や関係者の意向を把握できる</li> <li>参加者の理解を深めることが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心のある多くの人に対して理解を深めることが可能</li> <li>地区別に開催するといった対応も可能</li> </ul>
課題・留意事項 (デメリット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>回収率が低くなる懸念</li> <li>内容が理解されないまま回答される恐れがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の人を対象とするため、地区の総意にならない可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数が多くなった場合、議論がまとまらない可能性がある</li> <li>ある程度の案が固まった段階で行うことが多く議論の場としては弱い</li> </ul>
意思決定の判断基準(例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>設問にて是非を問い、多数決にて判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議の中で是非を決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会の最後に是非を問う回答用紙に記入していただき、多数決にて判断</li> </ul>

※表中の内容は、本検討における内容として記述しており、一般論とは異なる場合がある